

ぼむ・ぼむ通信

グループ ぼむ・ぼむ

No. 16
[冬号]

こうち生協

「ネットワークを大切に」



Partnership

生協のユニセフ活動・14

こうち生協は、創立後すぐユニセフの団体会員となりましたが、組合員活動として本格的にユニセフ活動に取り組みはじめたのは、1989年に福祉委員会が開催してからです。100名規模の「ユニセフのつどい」を開催したり、ミニ学習会を開催して子どもたちから絵を募集したり、県内の青年海外協力隊などの協力で各国の子どもたちの写真や民族衣装、日用品を展示するなど、工夫を凝らした活動を行ってきました。現在は、組合員の自主的なユニセフグループとして活動が行われています。

以前ラオススタディーツアーに参加され、現在もグループで活動されている畠中さんにお話を伺いました。

「ハンド・イン・ハンド募金に協力したり、生協まつりなどでのバザーやユニセフグッズの販売、パネル展示などを主として行っています。最も多く募金が集まるのは、お年玉募金です。運営委員会や支所が行事の収益の一部をユニセフに寄付することもあります。集まったお金は一括して年一回の総代会でユニセフに贈呈されます。また、1996年度からは他生協とともに、『ラオス指定募金』にも取り組んでいます」と畠中さん。

今年の「ユニセフのつどい」は3年ぶり。少し停滞気味

だったユニセフ活動活性化のために、実行委員会形式をとりました。新しい仲間とアイデアを出し合って「つどい」の内容を決め、夏休み中の子どもたちに来てもらうことを念頭において企画しました。西嶋礼子さんのお話(2~3頁参照)の他、ORSづくりや食料分配ゲームなど体験型学習が盛り込まれました。また、高知商業高校が10年前からラオスへの学校建設支援でユニークな活動をしていることを知り、事例発表をお願いしました。学校へチラシを配布するために教育委員会の後援をとり、マスコミへも実行委員が分担して出かけてPRしました。

「中・高校生の参加も多数あり、生協をとおしてユニセフの輪を地域へと広げることができたように思います。その輪をさらに広げていきたい...。5年後には日本ユニセフ協会高知県支部ができるようにがんばりたい...。来年はチャリティコンサートをしよう...。毎年行っている生協まつりでも...。夢を限りなく広げています」と、畠中さんは熱く語ってくださいました。

<松本>

この記事に関するお問い合わせは...

こうち生協 理事会室 担当 / 井上正隆さん

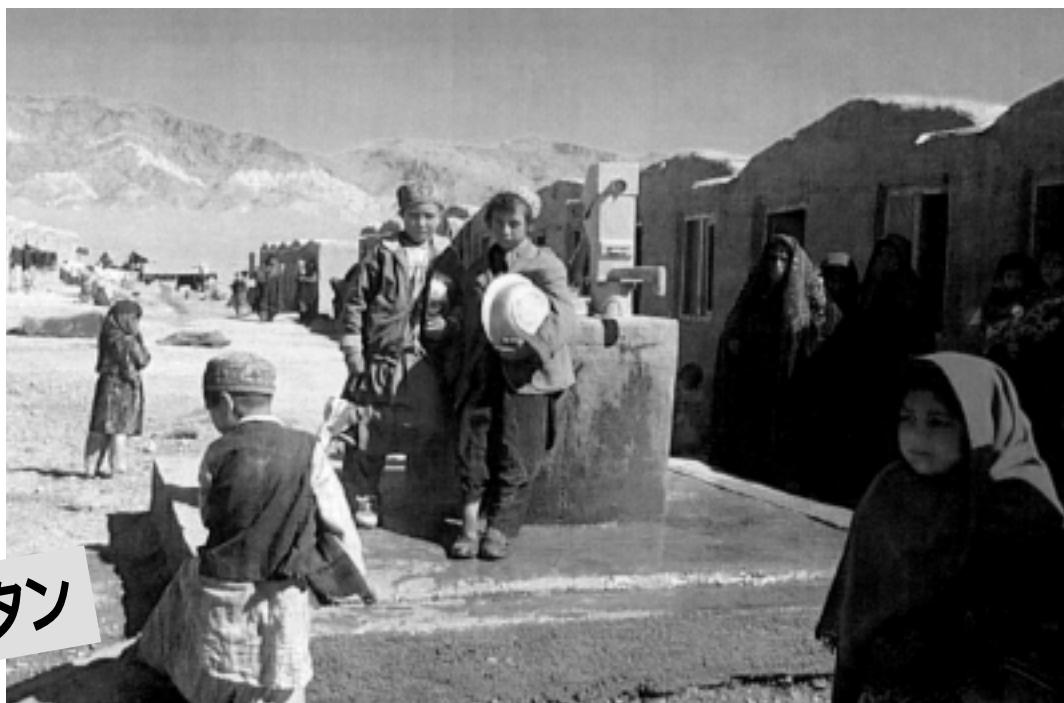
TEL 088-826-5211 / FAX 088-826-5252

特 集

ユニセフ
現地報告会

毎年恒例となりました「ユニセフのつどい」が今年も開催されました。ユニセフ南アジア地域事務所で緊急救援計画担当官として勤務されている西嶋礼子さんをお招きし、報告会を行いました。

アフガニスタン



©日本ユニセフ協会

紛争に巻き込まれた子どもたち

2001年8月末の状況です。その後、アメリカ同時多発テロに関連してアフガニスタンの難民、避難民の

状況はさらに悪化し、現在日本ユニセフ協会では「アフガン難民」への緊急募金を呼びかけています。

ユニセフ南アジア地域事務所

西嶋礼子

避難民とは？

世界でもまだあまり知られていないのが、国内の「避難民」の問題です。一般に難民というと、自分の國の外へ逃げていった人々を指します。一方、避難民は國外に出るのではなく、自らの地を追われ國内の別の地に逃げた人々のことです。アフガニスタンでは、22年間の紛争の結果、約370万人の難民と80万人の避難民が発生しています。

難民はその隣國の政府の保護を受けることになるのですが、避難民はその國の政府が保護にあたる責任があります。ところが、反政府ゲリラと紛争のまっただ中にある政府は、他のことを行う余裕がないばかりか、避難民と反政府ゲリラとの関わりを疑ってそうした責任を怠ることも多いため、ほとんど援助を受けられず、悲惨な状況で生活しているのが現状です。ユニセフが主導権を持って、他のパートナーに働きかけていく必要があります。

ユニセフの救援活動～

アフガニスタンの避難民

アフガニスタン西部のヘルートには、長い紛争と2年以上続いている干ばつの両方に苦しめられ、家畜を売り払

い、家も村も見捨てて生き残るために街へ逃げてきた避難民が、約10万人も住んでいます。この地帯は5月頃から気温が50度まで上昇する砂漠地帯で、テントでは子どもたちは耐えられません。現在では国連の援助によって、土でできた架設住宅(上写真 右側)に住むことができるようになりました。

特に厳しい状況の家庭を対象に、生活必需品キットを配っています。中身は地域によって様々ですが、アフガニスタンでは主に調理器具が入っています。



©日本ユニセフ協会



©日本ユニセフ協会

国連の世界食糧計画（WFP）による子どもたちへの補助的食料の配布（1日2回）です。一般的な家族向けに配布される食料だけでは子どもたちにとって十分ではありません。せめて子どもたちだけでも栄養補給をとおかゆを配っています。



©日本ユニセフ協会

このたくさんの石が積まれている場所は何だと思いませんか。実はお墓なのです。ユニセフでは冬には避難民の数は増えないと予想していたのですが、その予想に反して、避難民の数は増える一方でした。特に今年の1月は、マイナス25度の寒波が押し寄せ、テントの中で毛布もなく凍え死んでしまった子どもたちが400人以上いました。

このお墓の前を通るたびにもう二度と同じ悲劇はくり返すまいと私たち国連職員は心に誓いました。

ユニセフのつどい開催日程

月 日	主 催	開催地
8月18日(土)	鳥取県生協	(鳥取県 倉吉市)
19日(日)	おかやまコーポ	(岡山県 岡山市)
20日(月)	こうち生協	(高知県 高知市)
21日(火)	(移動日)	
22日(水)	市民生協にいがた	(新潟県 新潟市)
23日(木)	神奈川県生活協同組合連合会	(神奈川県 横浜市)
24日(金)	めいきん生協	(愛知県 名古屋市)

ユニセフのつどい開催の報告 - 市民生協にいがた -

実行委員をされた大沢キソ子理事にお話を伺いました。

開催日が決定したのは6月。組合員が集いやすい新潟市の駅から近く、バスの便もよい会場を決定し、予約しました。実行委員会は理事7名。7月に第1回会合をもらいました。参加申込は生協の広報誌で、夏休み中ということで親子参加を呼びかけました。参加人数決定は開催日の2週間前。同時に「ユニセフのつどい」のパンフレット、ユニセフ・bingoゲームを作成しました。当日は、実行委員と職員で会場設営、パネル展示を行いました。

「市民生協にいがたは今年11月に設立15周年を迎えた。その節目の年に「ユニセフのつどい」を開催できて大変嬉しく思っています」と大沢さん。 <藤森>



来年以降開催する生協へのアドバイス

夏休み中で親子参加が多く、2~3歳から小学校低学年の参加があったが、話がやや難しかったようだ。ユニセフに関するbingoゲームは子どもにも大人にも好評だった。

会場の都合でユニセフグッズの販売ができなかった。会場決定の段階で確認しておくとよい。

事前に実行委員会メンバーのユニセフに関する勉強会が必要。

組合員への広報は1回きりでなく、情報をわかりやすく数回に分けて伝える。お知らせの工夫も大切。

この記事に関するお問い合わせは…

市民生協にいがた 総合企画室 担当 / 笹川八千代さん
TEL 025-283-5210 / FAX 025-284-5860

紛争によって一番傷つき、被害を受けるのは、子どもたちです。話を聞き、ビデオを見て、この子どもたちの笑顔はいつになつたら見ることができるのだろうかと涙が止まりませんでした。「ボランティア」という言葉を安易に使っていたのではないだろうかと、この言葉の重みを強く感じました。今私にできることは、募金に協力することと、ユニセフのこと、子どもたちのことを、今回参加できなかつた多くの人々に伝えていくことだと思いました。

ユニセフこんなこと知りたい



© UNICEF/ICRF-0355

ユニセフができるまでのおはなし

第二次世界大戦が長期化していく中で、ヨーロッパの子どもたちは親を失い、傷つき、飢えや病気に苦しんでいました。困窮状態にある国々に緊急に必要な救済を与え、復興を促進するため、1943年、当時連合国側にいた国々が加盟して、UNRRA(the United Nations Relief and Rehabilitation Administration / 連合国救済復興機関)を設立しました。大戦後も活動は続き、1945～46年の最盛期には、5万人のスタッフと約40億ドルの救援金をつぎ込んで、東ヨーロッパを中心に中国、フィリピン、エチオピアなど25か国で農業復興、医療・教育支援、難民保護、子どもの支援をしました。

資金のほとんどを米国に依存する機関でしたが、戦争の勝利者の慈善的支援でなく、国際的協力機関として作られたものであり、支援を受ける国も、できる範囲で余剰食糧や物資を供出するという原則がありました。とこ

ろが1946年に東西冷戦がはじまり、援助を受ける国が多くが東側の諸国であるという事情から、最大の拠出国であった米国の反発にあい、アンラはわずか3年で解体の危機を迎きました。



© UNICEF/UNRRA-3932

— ヨーロッパと中国の子どもたちは、ここ数年間の悲惨な年月の中で、食料を奪われてきただけではない。彼らは常に恐怖の中で暮らし、一般市民の虐殺を目撃し、科学戦争におびえ、社会的品行がますます悪化する状況にさらされてきた。国連が直面している緊急の問題はこれらの子どもたちの生存をどう確保するかということである。世界の希望は次の世代に託されているのだから、子どもたちのケアの問題は国際的な視点から取り組まなければならない。そしてその解決策も国際的な基盤に基づいたものでなければならない。

国際連合国際児童緊急基金の設立
国際連合総会第3委員会報告

1946年12月9日

この事態の中で、せめて子どもたちにだけでも救援を続けられないかと考えた人がいました。ハーバード・フーパー前米国大統領と、ポーランドのアンラ代表を務めていたルドウイク・ラフマンです。ラフマンはアンラ最後の会議で、子どもたちに対する食糧・医療援助活動を継続するために新しい国連機関を作ることを提案しました。これがユニセフの原形となり、彼がユニセフ創設者といわれるゆえんです。



— 今日、世界には15歳未満の子どもたちが約9億人いる。そのうち半数以上の5億人が貧困の中に生き、死んでいる。彼らは飢えと寒さ、病気と隣り合わせである。彼らのニーズに応えようとしている唯一の機関、それがユニセフである。しかしユニセフの支出は、たった空母1隻の価格の半分にも満たない。私の希望(そしてそれがこれら5億人の子どもたちのための唯一の実際的解決策であるが)はUNICEFが恒久的機関となることである。

エレノア・ルーズベルト
米国国連代表

1953年10月



地道な政治的努力が実り、1946年12月11日の国連総会において、アンラの資金とスタッフを引き継ぐ形でユニセフ UNICEF (the United Nations International Children's Emergency Fund / 国際連合国際児童緊急基金) の設立が満場一致で採択されました。しかし、それは3年間だけの緊急的な活動をする目的の機関でした。

1950年、その期間が終わろうとしたときの国連総会は、活動の延長と開発途上国への支援拡大を望む声に沸きました。さらに3年後、ユニセフの存続が再度問われたとき、その重要性を訴えたのが、米国国連代表エレノア・ルーズベルトでした。1953年10月6日、国連総会は満場一致でユニセフを恒久機関とすることを決定しました。「緊急援助」だけでなく「開発援助」も行うということで、名称も United Nations Children's Fund / 国際連合児童基金と改めましたが、ユニセフ(UNICEF)の名前が広く親しまれていたためその呼び名を残しました。以降ユニセフの存在の是非が問われることはませんでした。<浜崎>

ユニセフハウス

国内におけるユニセフ支援活動の新しい拠点として建設されたユニセフハウスは、世界の子どもたちの現状を学ぶことができる施設です。見て、触って、動かして…。『ばむばむ』も、ボランティアの展示ガイドさんと一緒にさっそく体験してみました。



ロビーから見た常設展示コーナー

壁面を飾るレプリカの世界地図には、そこに生きる動植物や建造物、そして子どもたちが描かれています。ここに来るとなぜか皆ニッコリ。

7台のコンピュータを備えた学習スペース

瞬時に得られる情報に、子どもたちの目は輝いています。さあ、アクセスしてみよう!!

(ユニセフのロゴ入りジャンパーの人はボランティアの展示ガイドさん)

会議室(130名収容)

セミナーやワークショップも可能になりました。



ユニセフカード&ギフト

カタログでお馴染みのユニセフカードとギフトが目の前にズラリ。ここでは手にとって買えます。「カラフルなカードを前に、どれにしようか迷う子どもたちで賑やかな夏休みでしたよ」と、ショップを手伝うボランティアさん。近くに勤めている人たちの姿も見られ、支援の広がりを感じます。

ユニセフハウス1F



OPEN

2階には、ユニセフの支援現場の様子が展示されています。子どもたちにもわかりやすいように、保健センターや学校の教室のモデルが作られています。



ユニセフハウス2F

保健センター
<乳幼児期の活動>



ユニセフの活動の様子
が具体的にイメージ
できるって感じ!

「ユニセフトレーナー研修」のご案内

ユニセフについて、世界の子どもたちについて、他の生協の組合員さんとともに学んでみませんか？ユニセフハウス展示コーナーの見学、ビデオ上映、ゲーム、他の生協の取り組み紹介、交流会などを予定しています。日頃ユニセフ協力へ熱心な組合員さんも、これから協力を考えておられる組合員さんも、ユニセフへの理解を深めるチャンスです。

日 時 2002年1月16日(水) 13:00~16:30

場 所 ユニセフハウス

JR「品川駅」より徒歩10分

都営浅草線「高輪台」駅より徒歩10分

参加費 無料(交通費は各自ご負担ください)

申 込 生協名、参加者氏名、住所、電話、FAX番号を明記の上、郵便またはFAXでお申し込みください。

締 切 2001年12月15日(土) 1次締切

お申し込みは...

〒108-8607 港区高輪4・6・12

(財)日本ユニセフ協会 協力事業部 藤田絵里

FAX 03-5789-2032



たくさんのかどもたちが
犠牲になっているのね...





フランス流の生活を体験



村上理恵さん

夫の仕事の関係で、2人の子ども(魁くんと、慧くん)と一緒に1999年7月から2001年3月まで、1年8か月間フランスで生活をする。慧くんは生まれたばかりだったので、首がすわるのを待って渡仏。そのとき魁くんは3歳4か月、慧くんは2か月半だった。

幼稚園は学ぶところ

住んでいたクルブヴォワ市はパリ西郊外の町でした。セーヌ川沿いのアパートは、凱旋門から車で約10分のところにあり、窓からはエッフェル塔が見えました。

せっかくフランスで暮らすのだから現地での体験をさせたいと考え、長男はフランスの公立幼稚園に入れました。幼稚園の費用は年間約1,000円でした。

長男は、幼稚園のプチ(年少組)とムアヨン(年中組)のクラスに通いました。日本の幼稚園は、お遊戯をしたり、泥んこ遊びをしたり、遊びの要素が多いですが、フランスでは、絵を描いたり、詩を覚えたりと、幼稚園はエコール(学校)という意識なのです。ムアヨンのクラスでは、数字やアルファベットの勉強も始まります。フランスか

ら日本に来て、子どもを幼稚園に通わせている友だちは、「日本の幼稚園は遊んでばかりで大丈夫かしら」と心配しています。

幼稚園は水曜と土曜がお休みなので、皆バレエやサッカー、乗馬などの習い事をさせています。習い事の授業料も安く、補助金もあります。ルーブル美術館も、子どもは無料でした。そういうところで小さい頃から感性が磨かれ、芸術文化が発達していくのかなと思いました。

働く女性を後押ししてくれる社会

フランスでは女性もしっかり仕事をするのが当たり前で、専業主婦はほとんどいません。専業主婦の家庭は、幼稚園児も家で昼を食べさせなければならないので、2人の子を連れて1日4回幼稚園を往復していました。昼食を家でとる子は、クラスの3分の1くらいだったでしょうか。

送り迎えも母親でなく、ベビーシッターやおばあちゃんが来る子どもが多いようです。公園で子どもを遊ばせているのもベビーシッターなので、何かを聞いても、「私は母親ではないからわかりません」といわれ、情報交換できる母親同士の友だちを見つけるのが大変でした。

女性が働く社会ですから、保育所やベビーシッターなど、子どもを預けるためのシステムがいろいろな形で用意され、補助金もありました。幼稚園の費用が安いため、その分を習い事やベビーシッターに使う人も多くいます。



公園にて。フランスの町は石畳で覆われていて、土があまり見られません。公園も石畳。日本に帰ってきて、やっと泥んこ遊びをさせられました。

日本ユニセフ協会
ホームページにアクセスしよう
<http://www.unicef.or.jp>

ユニセフの活動や世界の子どもたちの様子を知るため、ホームページにはたくさんのサイトがあります。



ユニセフって何？

ユニセフの使命や組織、歴史について紹介しています。日本ユニセフ協会の活動やアグネス・チャン日本ユニセフ協会大使の支援活動について知ることができます。



ユニセフ協会とユニセフハウス

新しくなったユニセフハウスの展示コーナーの様子や、資料についての解説を見ることができます。



子どもの広場

子ども向けにユニセフの活動についてわかりやすく説明しています。先生向けの情報も充実しています。



ユニセフカード&ギフト
オンラインコレクション

インターネット上でユニセフカードやギフトを購入できます。定価の約半分が開発途上国の活動資金として役立てられます。



インターネット募金

クレジットカードをお持ちの方は、インターネット上で気軽に募金をすることができます。

その他にもこんなサイトがあります。— *NEW! 新着情報* / 最新かつ重要な情報をピックアップしてお知らせしています。 *ユニセフに協力するには* / 様々な協力方法を細かく紹介しています。その人にあわせたユニセフ協力方法を選ぶことができます。 *子どもの権利条約* / 子どもの権利条約について、また世界の子どもたちが直面している問題と取り組みを紹介しています。 *皆様のご支援でこんなことができます* / いくらの募金で医薬品や教育キットをどのくらい援助できるの？募金はどういう流れで子どもたちに届くの？そんな質問にお答えします。 *Global Movement for Children* / 子どもたちと一緒に世界を変えるための様々な運動について知ることができます。 *ユニセフ資料館* / 世界の子どもに関する記事やデータが集まっています。資料の請求もできます。 *ユニセフ協会からのお知らせ* - *ユニセフイベントカレンダー* / ユニセフ協会主催・共催をはじめとする全国各地のイベントを紹介しています。

スーパーには、レタスやトマトなどサラダに使う野菜が豊富に揃っています。また、粉を溶いて肉にかけるだけのソースもたくさんの種類があります。冷凍食品や缶詰を利用したり、具を入れて焼くだけのキッシュの生地を買ったり…。働く女性が手際よく食事作りができるようになっていました。

一週間

La semaine
- Bonjour, Lundi.
Comment va Mardi ?
- Très bien, Mercredi.
- Et toi, Jeudi ?
- Va dire à Vendredi
qu'il s'apprête
pour les noces de Samedi
qui se marie
avec Dimanche.

魁くんが幼稚園で
習ってきたポエムです。

日本に戻ってきて

私は度胸のすわった性格なので、フランスでの生活もうまくやっていけるという自信がありました。しかし、小さな2人の子どもに振り回されて、いいところを味わえずに終わってしまいました。歴史的なものを背景とした国柄が根本的に違ったこともあります。 <尾澤>



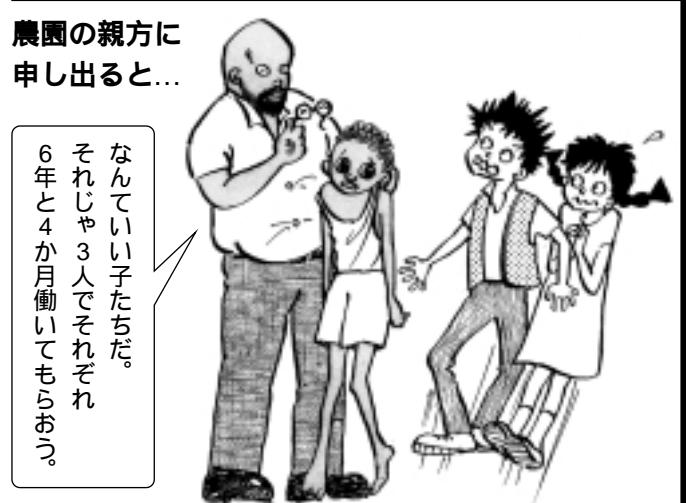
旧市街サンマロにて。次男は赤ちゃんでしたが、長男にうつて約2年間のフランス生活がどう影響するのか、将来はフランスで暮らしたいとなるのか、見守つていきたいなど思っています。

KID'S ROOM



「カカオ畑で働く子どもたち」の巻

センちゃんとプウちゃんは、カカオの原産地へやってきました。そこでは、子どもたちが労働力として商人に買われ、カカオ畑で重労働を強いられていました。詳しい事情を理解していないセンちゃんとプウちゃんは、売られていく子どもたちと一緒にトラックに乗り込んでしまいました。



貧しい家庭に生まれた子どもの中には、親のつくった借金を返すため、農園や工場で働かされるということがよくあります。朝早くから夜遅くまで働いて手にするわずかなお金は、親の借金の返済へと消えていくのです。

センちゃんとプウちゃんが 出会った子どもたちには、 どんな権利が 関係あるのでしょうか…

子どもの権利条約

第32条「経済的搾取・労働からの保護」
子どもは、むりやり働かされたり、そのために教育を受けられなくなったり、心やからだによくない仕事をさせられたりしないように守られる権利があります。

第35条「ゆうかい・売買からの保護」
国は、子どもがゆうかいされたり、売り買いされたりすることのないように守らなければなりません。

第36条「あらゆる搾取からの保護」
国は、どんなかたちでも、子どもの幸せをうばって利益を得るようなことから子どもを守らなければなりません。

家計を助けるために働く子どもたち、親の借金を返すために売られる子どもたち、空気の悪い工場で毎日15時間以上も働かされる子どもたち、家を出て街でストリートチルドレンとなる子どもたち…世界には児童労働に従事する子どもたちが、2億5,000万人もいるといわれています。ユニセフは、児童労働をなくし、子どもたちが学校へ通い、子どもらしく生きていけるように、様々な支援をしています。

ストリートチルドレンのように親元を離れた子どもたちのための保護センターを設置し、カウンセリングをします。最終的には、子どもたちが村に戻り、親や親戚の元で保護されるように支援します。

昼間働かなければならない子どもたちのために、夜間教室を開き、読み書きや計算を教えます。

子どもを搾取している工場や農場の経営者に、子どもの労働時間の削減や劣悪な労働環境の改善を訴えます。

子どもの権利について親や村の人たちに知ってもらい、子どもたちが児童労働から解放され、学校に通って勉強ができるようにします。将来よりよい収入の得られる仕事につけるよう、子どもたちに職業訓練をします。



© UNICEF/HQ93-2146/Giacomo Pirozzi

もうお読みになりましたか？

「子どもの権利を買わないで」 — ブンとミーチャのものがたり

– 犯罪です 子ども買春
「子ども買春、子どもポルノ」は犯罪なのです –



監修 横田洋三
文 大久保真紀
絵 森野さかな
英訳 スヌエル博子

お近くの書店で
お求めください。

このキャッチコピーを目にしたことがありますか？

1996年8月、「第1回子どもの商業的搾取に反対する世界会議」がストックホルムにて開催され、1999年11月には、ようやく日本でも「児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び保護等に関する法律」が施行されました。2001年12月17日から20日、横浜にて第2回世界会議が開催されることになり、その記念でもあるユニセフ協会推薦の図書です。

瞳が印象的な絵です。「ブンとミーチャ」という2人の少女の物語を、彼女たちを見守っている妖精のような存在「クリン」が語ります。全文英訳つきで、最後に「解説編」として、クリンの質問に答える形でわかりやすい説明があるので、単なる絵本にとどまらず、読み応えのある1冊になっています。

もうひとつのテーマ「児童労働」にもふれられています。過酷な労働条件のもとで作られた衣服や靴は、私たちが輸入国であるという事実に、いろいろなことを考えさせられました。「買っているのは快樂や安い洋服ではない、子どもたちの権利なのだ！」と強くわかりやすく訴えています。多くの大人に読んでいただきたい絵本です。 <山本>

アフガン難民緊急募金のお願い

アフガニスタンでは、9月11日に発生した米国の同時多発テロの影響で約2,000万の人口のうち、500万人が緊急人道援助を必要とし(そのうち5歳未満の子どもは150万人といわれています)事態の悪化によっては、国内避難民と難民の急増が予測されています。アフガニスタンは、20年に及ぶ内戦、30年来の大干ばつに加え、間もなく零下25度にも達する厳しい冬がやってきます。

ユニセフは、この緊急事態に対し、アフガニスタン国内の子どもと女性およびパキスタンなど周辺国に避難した難民の子どもと女性のために、テント、衣服、毛布、

栄養補助食、保健キット、教材などを届ける緊急援助活動を行っています。アフガニスタンへの緊急募金に協力ををお願いいたします。

募
金
送
付
先

郵便振替 00110-5-79500
加入者名義：財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「アフガン難民」とご記入ください
送金手数料は免除されます
インターネットからも募金を受け付けています
<http://www.unicef.or.jp>

ペルー地震緊急募金のお願い

6月23日にペルー南部海岸地域を襲ったマグニチュード6.9の地震による被害を受けた子どもや家族に対するユニセフの緊急救援を支援するため、財団法人日本ユニセフ協会は緊急募金の受付を開始しました。

死者77人、負傷者2,713人を数え、6万1,000戸の家屋と200以上の小学校が損壊しました。全体として7万人の子どもと7,000人の妊婦を含む22万人以上の住民への影響が懸念されています。ユニセフは、地震発生の翌日から被災家族に対し、肺炎や下痢のための医薬品の他、保健・栄養に関する情報を記載したリーフレットを提供しました。特に栄養不良の影響を受けやすい生後6か月から2歳までの2万人の子どもに対しては、栄養補助食を提供しています。地震により精神的ショックを受けた子どもも多く、訓練を受けたスタッフによる心理的ケアが行われています。子どもの心の回復には、学校を再開し、友だちと交流することが効果的であるため、子どもたちが1日でも早く学校に通えるように教育セットを5,500セット提供し、100クラス以上の簡易学校の開設を支援しています。皆様のご協力ををお願いいたします。

郵便振替 00190-5-31000
加入者名義：財団法人日本ユニセフ協会
通信欄に「ペルー地震」とご記入ください

募
金
送
付
先

「第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」のお知らせ

「子どもの商業的性的搾取」とは、特に「子ども買春・子どもボルノ・性的目的の子どもの人身売買」を指します。1996年8月にスウェーデンで開かれた「第1回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」では、「子どもの商業的性的搾取」の根絶を目指す宣言が採択されました。以来、日本でも1999年11月に「児童買春、児童ボルノ等に係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」が施行され、第2回世界会議の開催に至っています。政府・国際機関・NGOとともに、世界から100人の(うち33人は日本の)子どもと若者も正式に参加します。

日時 2001年12月17日～20日

場所 横浜・パシフィコ横浜会議センターおよび国立大ホール

参加・協力のお問い合わせは…

(財)日本ユニセフ協会 広報室 「横浜会議を成功させる会」事務局
TEL 03-5789-2016 / FAX 03-5789-2036
E-mail jcuinfo@unicef.or.jp

募
集

『ぼむぼむ通信』編集ボランティア

経験は必要ありません。興味のある方なら誰でもOKです。毎月の編集会議に参加して、私たちと一緒に楽しくアイデアを出し合いませんか?

ユニセフ*コープ ネットワーク ぼむ・ぼむ通信

No.16 [冬号] 2001年11月1日発行

編集 グループ ぼむ・ぼむ
(生協組合員ボランティア)
スタッフ・編集/岩橋・尾澤・浜崎・福本・
藤森・松本・山本・藤田
イラスト/姥沢
発行 財団法人日本ユニセフ協会 協力事業部
〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12
TEL 03-5789-2012
FAX 03-5789-2032
ホームページ <http://www.unicef.or.jp>

編集後記

ユニセフハウス同様、我が家も8月に引っ越しました。新しい台所は明るく、大嫌いだった食器の片付けが苦でなくなりました。食事を作って片づける、当たり前にくり返せることが大切に思えます。それができない人たちがたくさんいることを思うと。

今回、フランスで暮らした村上さんのお話を伺いました。国が違うと、日本では当たり前のことでも当たり前ではないのですね。テロは絶対

に許せない。どうしてそんなことが起こるのか、その背景にあるものも、我が子に教えていただきたいと思います。

(尾澤)
今回初めて編集に参加させていただきました。猛暑の中、編集会議もさらにヒートアップ!秋風を感じつつ『ぼむぼむ通信』に目を通して、皆様にもそうした温かさをお届けできたらいいなと思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

(中野)